



活動報告

2003（平成 15）年度

Research Projects of the National College of Nursing, Japan in the Academic Year of 2003

Supervisor: Dr. Keiko Takeo
(President)

1. CROSS-CULTURAL RESEARCH ON KEY CONCEPTS IN NURSING

Human Caring

Prof. P. Boonyanurak/Assoc. Prof. M. Ozawa/Assist. Prof. M. Mizuno/
Instructor D. R. Evans/Instructor A. Okada

2. A STUDY ON THE UNIFICATION BETWEEN THEORY & PRACTICE IN NURSING EDUCATION

The Unifications in Nursing Education

Professor T. Kameoka/Professor K. Iino/Assoc. Prof. T. Nakayama/
Assist. Prof. T. Matsuyama/Assist. Prof. S. Anazawa

- 1) T. Kameoka, K. Takeo : A Literature Review on the Unification of Nursing Practice, Education, and Research in the United States. J Nurs Studies NCNJ, 2(1), 2-9, 2003.
- 2) K. Iino, T. Kameoka, T. Matsuyama, Y. Kudoh, N. Nagao, A. Ishioka, T. Watanabe, K. Takeo : Current Status of Research Overseas on Unification between Institutions for Nursing Education and for Health Care. J Nurs Studies NCNJ, 2(1), 10-16, 2003.

3. AN INVESTIGATION INTO THE GROWTH OF PROFESSIONAL COMPETENCY

The Case of Midwifery

Professor K. Sasaki/Assoc. Prof. T. Nakayama/Instructor A. Itoh

4. DATA-BASE PREPARATION OF NURSING RESEARCH

The Data-Base of Nursing-Studies accomplished by the National Hospitals&
Sanatorium during the Year of 2002~2003

Professor K. Iino/Professor H. Komamatsu/Professor F. Takeuchi/
Assist. Prof. K. Nio/Assist. Prof. K. Kashiwagi

- 1) K. Iino, K. Nio, H. Komamatsu, S. Moriyama, K. Nakano, T. Nakahata : A Study on Trends in Nursing Research National Hospitals and Sanatoriums, J Nurs Studies NCNJ, 2(1), 80-90, 2003.

5. THE DEVELOPMENT OF TEACHING MATERIALS IN NURSING

Music Therapy in Child Nursing

Professor H. Komamatsu/Assist. Prof. T. Yamada/Instructor M. Sagawa

- 1) Video-Tape : [Music Activity in the National Hospital for Children-For the Healing of Mind-]Supervisor : K. Takeo,
Producer : H. Komamatsu, T. Yamada, M. Sagawa

6. INTERNATIONAL COLLABORATION OF NURSING RESEARCH

About the Nursing Ethics

Assist. Prof. M. Mizuno/Dr. P. Boonyanurak*

(*Vice Rector of Saint Louis College, The Kingdom of Thailand)

2003(平成 15)年度 国立看護大学校看護研究プロジェクト

統括 大学校長 竹尾恵子

1. 看護に関する主要概念の国際比較

「ヒューマン・ケアリングについて」

プアングラ・ブーニャヌラク(セントルイスカレッジ, 副学長, タイ王国), 小澤三枝子(助教授), 水野正之(講師), D. R. Evans(助手), 岡田彩子(助手)

2. 看護教育におけるユニフィケーションに関する研究

亀岡智美(教授), 飯野京子(教授), 中山登志子(助教授), 松山友子(講師), 穴沢小百合(講師)

- 1) 亀岡智美, 竹尾恵子: 米国における看護実践・教育・研究のユニフィケーションに関する文献の概観: 国立看護大学校研究紀要, 2(1), 2-9, 2003.
- 2) 飯野京子, 亀岡智美, 松山友子, 工藤快枝, 長尾信子, 石岡明子, 渡辺輝子, 竹尾恵子: 海外における看護学教育機関と保健医療機関の連携に関する研究の現状: 国立看護大学校研究紀要, 2(1), 10-16, 2003.

3. 看護の専門能力育成に関する研究

「助産師の専門能力について」

佐々木和子(教授), 中山登志子(助教授), 伊藤愛子(助手)

4. 看護研究データ・ベースの作成

「国立病院・療養所看護研究データ・ベース 2002~2003」

飯野京子(教授), 駒松仁子(教授), 竹内文生(教授), 仁尾かおり(講師), 柏木公一(講師)

- 1) 飯野京子, 仁尾かおり, 駒松仁子, 森山節子, 中野絹子, 中畑高子: 国立病院・療養所における看護研究の動向: 国立看護大学校研究紀要, 2(1), 80-90, 2003

5. 看護教育教材の開発

「小児看護における音楽活動の導入」

駒松仁子(教授), 山田 巧(講師), 佐川美枝子(助手)

- 1) 竹尾恵子監修, 駒松仁子, 山田 巧, 佐川美枝子製作: ビデオ「国立小児病院における音楽活動の実践—子どもたちの心の癒しを目指して—」

6. 看護の国際協力研究

「看護倫理に関する研究」

水野正之(講師), プアングラ・ブーニャヌラク(セントルイスカレッジ, 副学長, タイ王国)

2003(平成 15)年度 国立看護大学校研修部活動報告

研修部長 西尾 和子

平成 15 年度に研修部が行なった研修は、表 1 の通りである。内容は、政策医療的な視点に加え、平成 13 年度の研修ニーズ調査(国立看護大学校研究紀要 1(1)に掲載)を参考に計画した。今年度は認定看護師教育課程を 2 コースに増設し、専門領域の研修を WOC 看護研修として、さらに充実した内容の研修を行った。

1. WOC 看護研修は、研修ニーズ調査でもニーズが高い分野であったこと、および褥瘡対策が減算対象に指定されていること等を考慮し、研修を企画した。5 日間という短期に充実した内容を盛り込むため、今回は褥瘡ケアに焦点を絞って計画した。「現在、褥瘡対策チームの役割を担っている者、または、将来担う予定の者」を対象に募集を行なったが、定員の 2 倍を超える応募があり、選考の結果、全国から計 54 名(うち、教官 3 名)の参加を得た。講師には、日本看護協会看護研修学校の専任教員、国立国際医療センター、国立がんセンター中央病院、国立病院東京医療センターの WOC 看護ナースを迎え、充実した講義・演習を組むことができた。研修終了時に行なったアンケート調査でも、「創傷治癒のメカニズムについて理解が深まったことで、被覆材や薬剤の選択理由が理解できた」「マットレスや創傷被覆材の使用方法等、誤った知識を持っていたのでとても勉強になった」「今まで自分なりに研修に行ったり、勉強してきたつもりであったが、演習ははじめての経験で大変勉強になった」「予防の大切さを再認識した」などの感想があった。今回の選に漏れ、受講できなかった多くの施設のためにも、来年度もこの研修を行なう予定である。

2. 看護研究研修は、1 年間の「実践コース」に加え、1 週間(5 日間)の「基礎コース」を併設した。「基礎コース」には定員の 5 倍を超える申し込みがあり、選考の結果 16 名(うち、教官 6 名)が受講し

表 1 平成 15 年度研修

研修名	研修目的	期 間
WOC 看護研修 —褥瘡ケア—	褥瘡の予防的ケアおよび創傷治癒を促進する方法に関する基本的な知識・技術を習得する。	6 月 23 日～6 月 27 日 (5 日間)
看護研究研修	A コース：看護研究を遂行するための基本(文献検索や量的・質的研究方法等)についての理解を深め、基本的な研究方法を習得する。 B コース：施設内の看護研究において指導的役割がとれる人材を育成する。	A コース：7 月 7 日～11 日 (5 日間) B コース：7 月 7 日～ 平成 16 年 7 月 (1 年間。うち集中講義 2 週間)
「がん性疼痛看護コース」 (認定看護師教育課程)	がん性疼痛をもつ患者に対して、質の高い緩和ケアを実践できる認定看護師を育成する。	平成 15 年 10 月～平成 16 年 3 月 (6 か月間)
「感染管理コース」 (認定看護師教育課程)	各施設において効果的な感染防止・感染管理を実現する認定看護師を育成する。	平成 15 年 10 月～平成 16 年 3 月 (6 か月間)
「感染管理コース」 フォローアップ研修	感染管理に関する最新の知識を確認し、専門的な活動の充実を図る。	平成 16 年 3 月 (1 日間)

た。「実践コース」には10名(うち、教官3名)が参加し、7月の集中講義(2週間)を終え、現在は自分の職場で、チューター(本学教員)の指導のもと、看護研究を行なっている。平成16年8月には本学において研究発表を行ない、最終的な指導を受ける予定である。皆、日々の多忙な業務を行ないながら時間を捻出し、努力している様子がうかがえ、研修部としてできる限りの支援をしていきたい。

3. 「がん性疼痛看護コース」(認定看護師教育課程)は、10月から3月までの6か月間で、講義、演習、実習あわせて630時間の授業を行なう教育課程である。平成14年10月31日に「教育機関認定申請書」を日本看護協会認定部に提出し、平成15年2月14日付でがん性疼痛看護分野の認定を受けた。がんネットワークの医療施設および緩和ケア病棟に勤務する看護師を対象に募集を行ない、18名を決定した。選抜にあたっては、ナショナルセンターおよび各地方厚生(支)局の多大な協力を得て、全国から優秀な研修生を集めることができた。10月2日に開講式を開催し、現在、研修生達はがん性疼痛緩和に対する密度の高い専門教育を受け、臨床に還元すべく毎日懸命に学習を行なっている。第1回生が修了するのは平成16年3月であるが、5月に実施される認定看護師認定試験に全員合格し、各施設で存分に活躍できることを期待している。

4. 「感染管理コース」(認定看護師教育課程)は、第3回生20名を迎えた。各ナショナルセンターおよび各地方厚生(支)局の多大な協力を得て、書類選考および面接を行ない、優秀な研修生が集まった。このコースも6か月間、講義、演習、実習あわせて600時間の授業を行なう教育課程で、第3回生達は感染管理に対する高度な専門教育の習得に毎日懸命に努力している。第3回生が修了するのは平成16年3月であるが、5月に実施される認定看護師認定試験に全員合格し、各施設で存分に活躍できることを期待している。

5. 「感染管理コース」フォローアップ研修は第1回生、第2回生を対象に実施した。第2回生は平成15年5月に行なわれた認定看護師認定試験に24名が合格した。修了生達は、感染管理認定看護師として、各施設のみならず、それぞれの管内施設からのコンサルテーションを受けたり、講習会の講師として活躍している。看護関係雑誌等に活動報告や教育記事を発表している修了生もおり、研修の成果を確実に臨床に還元してくれていることを実感している。感染管理の分野では最新の知識が日々更新している現状があり、このフォローアップ研修を通じて、修了生たちが最新の知識を確認し、ますます専門性が高い看護活動を実践できるよう支援していく予定である。

平成16年度も、研修ニーズが高かったWOC看護研修を含め、2コースの認定看護師教育課程など、政策医療を実践している看護職員を支援できるような研修を計画している。

今後とも、研修部の活動にご支援をいただきたく、お願い申し上げます。

教員の研究活動 2003(平成15)年1~12月



大学校長

[著書]

竹尾恵子監修, 西尾和子, 丸口ミサエ, 山田巧, 西岡みどり, 中辻香邦子, 飯野京子, 大原まゆみ, 岡田彩子, 仁尾かおり, 川畑安正, 渡邊輝子, 石岡明子, 新垣昌子, 小林知子: Latest 看護技術プラクティス, 学研, 2003.

[翻訳]

竹尾恵子監訳, 竹尾恵子, 岡美智代, 竹尾響子, 田中高政, 水野正之訳: シャーリー M. ジーグラ編; 理論に基づく看護実践, 心理学・社会学の理論の応用, 医学書院, 2002.

[報告書]

Keiko Takeo, Kazuko Sasaki, Emiko Suzuki, Nobuko Kaneda(as a Member of Steering Committee); Nursing Strategies in Coping with Regional Differences in Health Issues., Proceedings of The 28 th Senior Nurses International Workshop, the Ministry of Foreign Affairs of Japan & The International Nursing Foundation of Japan., September 3-13, 2002, Tokyo, Matsue, Izumo, Japan.

竹尾恵子(座長): 「看護基礎教育における技術教育のあり方に関する検討会」報告書, 厚生労働省医政局看護課, 2003.

竹尾恵子, 松山友子, 束田吉子: タイ国看護教育協力のための事前調査・報告書: (財)国際看護交流協会, 2003.

[論文]

竹尾恵子, 亀岡智美: 看護基礎教育における看護技術教育における展開と課題, 国立看護大学校における実例を一例として, 看護展望, 28(4), 447-455, 2003.

亀岡智美, 竹尾恵子: 米国における看護実践・教育・研究のユニフィケーションに関する文献の概観, 国立看護大学校研究紀要, 2(1), 2-9, 2003.

飯野京子, 亀岡智美, 松山友子, 工藤快枝, 長尾信子, 石岡明子, 渡辺輝子, 竹尾恵子: 海外における看護学教育機関と保健医療機関の連携に関する研究の現状, 国立看護大学校研究紀要, 2(1), 10-16, 2003.

[講演・学会発表]

竹尾恵子: 政策医療と国立看護大学校, 国立循環器病センター, 2003.6.

[ビデオ]

竹尾恵子監修, 駒松仁子, 山田巧, 佐川美枝子: 国立小児病院における音楽活動の実践—子どもたちの心の癒しを目指して, 2003.

人間科学(情報学)

[論文]

美代賢吾, 柏木聖代, 江藤宏美, 柏木公一, 高見美樹, 石垣恭子, 水流聡子: 看護情報を電子的に交換するための項目集の開発と試験実装, 医療情報学, 23(1), 55-64, 2003.

[講演・学会発表]

柏木公一: 看護記録の電子化とその課題, 東京大学シンポジウム, 2003.

Kimikazu Kashiwagi, Kazuhiko Ohe: Establishment of an injection order confirmation system to reduce risks of medical accidents, Proceedings of the 8 th International Congress in Nursing Informatics, Rio de Janeiro, Brazil: 725, 2003.

杉本龍子, 谷井穂子, 浅川久子, 斉藤伊都子, 吉永靖子, 遠藤綾子, 駒松仁子, 飯野京子, 柏木公一: 国立病院・療養所における情報ネットワークに関する研究—情報ネットワークに対する看護管理者のニーズと看護職の利用環境の実態, 第58回国立病院療養所総合医学会, 2003.

柏木公一: 看護情報の管理, クリニカルバイオインフォマティクス公開講座「医療科学と看護科学」, 2003.

柏木公一, 大江和彦, 里村洋一, 美代賢吾: 医療用語に関する国際規格の動向—概念用語集とその構造, 第23回医療情報学連合大会, 2003.

山口泉, 柏木公一, 石井雅通, 三浦英輝, 渡部浩之, 相馬一之, 大江和彦: ペーパーレス輸液指示システム開発で解決すべき

課題の検討, 第 23 回医療情報学連合大会, 2003.

[その他]

柏木公一: 電子カルテ化の可能性 電子カルテとは 病院現場で何がどのように変わるのか, 精神科看護, 124, 10-15, 2003.

駒松仁子, 小村三千代, 仁尾かおり, 柏木公一, 西海真理, 山元恵子, 斎藤淳子, 源名保美, 林幸子: 小児看護領域におけるフェールセーフ技術—点滴静脈内注射の事故防止, 国立看護大学校・国立成育医療センター, 2003. (ビデオ)

駒松仁子, 小村三千代, 仁尾かおり, 柏木公一, 西海真理, 山元恵子, 斎藤淳子, 源名保美, 林幸子: 小児看護領域におけるフェールセーフ技術—経口与薬の事故防止, 国立看護大学校・国立成育医療センター, 2003. (ビデオ)

駒松仁子, 小村三千代, 仁尾かおり, 柏木公一, 西海真理, 山元恵子, 斎藤淳子, 源名保美, 林幸子: 小児看護領域におけるフェールセーフ技術—転倒・転落の事故防止, 国立看護大学校・国立成育医療センター, 2003. (ビデオ)

人間科学(心理学)

[著書]

鉦鹿健吉: こころの科学, 国立看護大学校, 2003.

人間科学 (語学)

[著書]

松岡弘泰, 松岡里枝子: 中国故事を英語であそぶ, 篠崎書林, 2003.

[論文]

David R. Evans, Rieko Matsuoka: Preliminary analysis of an academic course in English. 国立看護大学校研究紀要, 2(1), 59-68, 2003.

Rieko Matsuoka: An interlanguage analysis on the English/r/and/l/, 英語学論説資料, 第 35, 46-57, 2003.

Rieko Matsuoka: An analysis of the oral academic discourse in discussions, Proceedings of Pan-Pacific Association of Applied Linguistics, (forthcoming)2003.

Rieko Matsuoka: Analysis of oral academic discourse, Proceedings of the 31st JACET Summer Seminar, 31, (forthcoming)2003.

David R, Evans, John Herbert: The importance of oral testing for conversation classes: A framework for planning oral tests, 国立看護大学校研究紀要, 2(1), 40-48, 2003.

David R, Evans: Introducing oral testing for English conversation classes: The reasons and the reaction, 国立看護大学校研究紀要, 2(1), 49-58, 2003.

David R, Evans: Why do oral testing?, E T J (*English Teachers in Japan Journal*), 4(2), 12-15, 2003.

[講演・学会発表]

Rieko Matsuoka: Gender variation in proffering compliments, TUJ Colloquium of Applied Linguistics. Tokyo, 2003.

Rieko Matsuoka: Gender effect on explicitness in proffering compliments, JALT Pan-SIG. Kyoto, 2003.

Rieko Matsuoka: An analysis of academic discourse, 湘南英文学会夏季総会, Yokohama, 2003.

Rieko Matsuoka: Discourse analysis of academic discussion, The 8th Conference of Pan-Pacific Association of Applied Linguistics, Okayama, 2003.

Rieko Matsuoka: Discourse analysis of disagreement at discussions, The 31st JACET Summer Seminar, Kusatsu, 2003.

Rieko Matsuoka: Academic discourse socialization in a doctoral program, The 29th JALT International Conference, Shizuoka, 2003.

[その他]

Rieko Matsuoka: Session chair, Annual Conference of American Association of Applied Linguistics, Arlington USA, 2003.

Rieko Matsuoka: Review article for 'The interactive work of prosody in the IRF exchange: Teacher repetition in feedback movies', Language in Society 32, 79-104, 2003: Pragmatics Matters, 5(1), 6, 2003.

人間科学(生活科学)

Yoko Otawara-Hamamoto(濱本洋子), Yoshiko Ishizuka, Hideyuki Yamato, Junko Mori-Okamoto: Effects of pomegranate juice on hyperlipidemia in ovariectomized mice, J. of Pharmacol. Sci, 91, 119, 2003.

基礎看護学(基礎看護学)

[翻訳]

水野正之：シャーリー M. ジーグラ編；理論に基づく看護実践，第 9, 10 章分担訳，医学書院，2002.

[論文]

松本あき子，重松宏：末梢動脈疾患を診る—QOL を識る，Heart View, 7(10), 1231-1236, 2003.

[研究報告]

柏木聖代，長江弘子，水野正之，福井小紀子，千葉由美，鳩野洋子，太田加世：高度な医療ケアを必要とする患者を在宅へ移行する退院調整看護のあり方に関する検討，平成 14 年度看護政策立案のための基盤整備推進事業報告書，211-287, 2003.

吉田幸子，日野悦子，小村三千代，水野正之，渡部みどり，戸谷益子，三浦京子，野崎しん，阿部さとみ，西海真理，内田友子，澤村清美：小児救急医療における看護の現状と今後の課題，平成 14 年度国立病院・療養所共同基盤研究，1-30, 2003.

[講演・学会発表]

吉田幸子，小村三千代，水野正之，西海真理，戸谷益子，野崎しん，三浦京子，渡部みどり：小児救急医療における看護の現状と今後の課題，第 1 回国立病院看護研究学会学術集録集，27, 2003.

Matsumoto Akiko, Shigematsu Hiroshi: Development of the subjective health status questionnaire for peripheral arterial occlusive disease, Proceedings of 21 st Annual Symposium Society of Vascular Nursing, 2003.

Matsumoto Akiko, Sato Reiko: Investigation of the effects of an artificial carbon dioxide footbath, A study of body temperature and thermosensory, Proceedings of 38 th conference of the Societe Internationale des Techniques Hydrothermales, 2003.

松本あき子，佐藤鈴子，重松宏：高濃度炭酸水と水道水足浴の体温及び温度感覚に及ぼす影響の検討，第 44 回日本脈管学会総会予稿集，2003.

松本あき子，菅田勝也：腹部大動脈瘤術後クリティカルパスウェイの成果と重篤な合併症例の看護について，第 23 回日本看護科学学会学術集会講演集 140, 2003.

基礎看護学(看護教育学)

[論文]

飯野京子，亀岡智美，松山友子，工藤快枝，長尾信子，石岡明子，渡辺輝子，竹尾恵子：海外における看護学教育機関と保健医療機関の連携に関する研究の現状，国立看護大学校研究紀要，2(1)，10-16, 2003.

鈴木美和，亀岡智美，舟島なをみ：講義における教員と学生の授業過程評価の差異，看護展望，28(5)，555-560, 2003.

野本百合子，亀岡智美，舟島なをみ：看護学実習における教員と学生の授業過程評価の差異，看護展望，28(5)，561-567, 2003.

亀岡智美，竹尾恵子：米国における看護実践・教育・研究のユニフィケーションに関する文献の概観，国立看護大学校研究紀要，2(1)，2-9, 2003.

[研究報告]

舟島なをみ(研究代表者)，佐藤禮子，杉森みどり，山口瑞穂子，定廣和香子，野口美和子，中谷啓子，平山朝子，前原澄子，亀岡智美：看護系大学・短期大学における教授活動支援システムの開発，平成 11 年度～平成 14 年度科学研究費補助金(基盤研究(B)(2))研究成果報告書，2003.

川嶋隆子，野宮雅子，谷口治子，射田明美，田村伸，武藤直子，門脇輝子，石坂洋子，松山友子，小村三千代：看護におけるインフォームドコンセントに関する研究—看護計画を患者と共有することの効果，平成 14 年度国立病院・療養所共同基盤研究報告，2003.

[講演・学会発表]

野本百合子，鈴木美和，望月美知代，吉富美佐江，亀岡智美，舟島なをみ：看護技術演習における教員と学生の授業過程評価の差異，第 34 回日本看護学会抄録集(看護教育)，21, 2003.

鈴木美和，吉富美佐江，山下暢子，亀岡智美，舟島なをみ：看護職者職業経験の質評価尺度の開発—信頼性・妥当性の検証，第 34 回日本看護学会抄録集(看護教育)，69, 2003.

鈴木美和，亀岡智美，舟島なをみ：看護職者の「職業経験の質」と「看護の質」との関連，看護教育学研究，12(2)，10-11, 2003.

亀岡智美，中山登志子，横山京子，吉富美佐江，山下暢子，舟島なをみ：看護における博士課程学生に関する研究の動向，第 23 回日本看護科学学会学術集会講演集，320, 2003.

Kameoka, T., Sadahiro, W., Funashima, N., Sugimori, M. : Nurses' goal attainment in interactions with patients, and nurses' attributes associated with it ; Based on King's theory of goal attainment, Sigma Theta Tau International, The 37 th Biennial convention, Toronto, 2003.

Hongo, K., Kameoka, T., Funashima, N., Sugimori, M. : Role model behaviors of nurse faculty and their association to their attributes in Japan, Sigma Theta Tau International, The 37 th Biennial convention, Toronto, 2003.

松山友子, 穴沢小百合 : 看護基礎教育課程における看護過程の教授・学習活動に関する研究の現状—1991年から2002年に発表された文献の分析, 第1回国立病院看護研究学会学術集會集録集, 62, 2003.

穴沢小百合, 松山友子 : 看護基礎教育課程における基礎看護技術演習に関する研究の現状—教授・学習活動に焦点をあてて, 第1回国立病院看護研究学会学術集會集録集, 63, 2003.

[その他]

竹尾恵子, 亀岡智美 : 看護基礎教育における看護技術教育の展開と課題, 国立看護大学校における実際を一例として, 看護展望, 28(4), 447-455, 2003.

亀岡智美 : 看護学教員の教育活動自己評価に向けた他者評価活用と倫理的配慮, その必要性と実際, 看護展望, 28(5), 548-554, 2003.

亀岡智美 : 看護管理に活かす看護理論のエッセンス—看護管理者によるキング目標達成理論の活用, 看護管理, 13(12), 1013-1017, 2003.

亀岡智美 : 学会長挨拶(日本看護教育学会第13回学術集會), 看護教育学研究, 12(2), 1, 2003.

竹尾恵子, 松山友子, 東田吉子 : タイ国看護教育協力のための事前調査・報告書, 国際看護交流協会, 2003.

基礎看護学(看護管理学)

[著書]

江向洋子, 吉田美美代, 奈良洋子, 濱田真理子, 坂本照美 : がん看護学, 日本臨床腫瘍学会編, 臨床腫瘍学, 癌と化学療法社, 1183-1188, 2003.

[学会発表]

穴沢小百合, 松山友子 : 基礎看護教育課程における基礎看護技術演習に関する研究の現状—教授・学習活動に焦点をあてて, 第1回国立病院看護研究学会学術集會集録集, 63, 2003.

松山友子, 穴沢小百合 : 基礎看護教育課程における看護過程の教授・学習活動に関する研究の現状—1991年から2002年に発表された文献の分析, 第1回国立病院看護研究学会学術集會集録集, 62, 2003.

成人看護学 I (急性期)

[著書]

西尾和子 : 環境調節の看護技術, 竹尾恵子監修 ; Latest 看護技術プラクティス, 2-15, 学研, 2003.

西尾和子 : 安全管理の看護技術, 竹尾恵子監修 ; Latest 看護技術プラクティス, 16-35, 学研, 2003.

西岡みどり : 感染予防の看護技術, 竹尾恵子監修 ; Latest 看護技術プラクティス, 74-94, 学研, 2003.

山田巧 : フィジカルアセスメントの看護技術, 竹尾恵子監修 ; Latest 看護技術プラクティス, 52-73, 学研, 2003.

山田巧 : 呼吸・循環を整える看護技術, 竹尾恵子監修 ; Latest 看護技術プラクティス, 302-334, 学研, 2003.

岡田彩子 : 救命救急処置, 竹尾恵子監修 ; Latest 看護技術プラクティス, 230-252, 学研, 2003.

岡田彩子 : 創傷処置, 竹尾恵子監修 ; Latest 看護技術プラクティス, 344-347, 学研, 2003.

岡田彩子 : ドレーン管理, 竹尾恵子監修 ; 看護技術プラクティス, 348-351, 学研, 2003.

西岡みどり : 1. 院内感染サーベイランスの進め方, 小林寛伊, 吉倉廣, 倉辻忠俊編集, 厚生労働省医薬局安全対策課編集協力 ; エビデンスに基づいた感染制御[第3集/展開編], 3-13, メヂカルフレンド社, 2003.

西岡みどり : 3. 院内感染アウトブレイクの防止, 特定, 制圧, 小林寛伊, 吉倉廣, 倉辻忠俊編集, 厚生労働省医薬局安全対策課編集協力 ; エビデンスに基づいた感染制御[第3集/展開編], 34-41, メヂカルフレンド社, 2003.

西岡みどり : 10. NNIS のリスク調整とその妥当性, 小林寛伊編集 ; 今日からはじめる手術部位感染サーベイランス, 135-141, メディカ出版, 2003.

川畑安正 : 創傷管理の看護技術, 褥瘡予防ケア, 竹尾恵子監修 ; Latest 看護技術プラクティス, 352-360, 学研, 2003.

[論文]

山田巧, 川畑安正, 西尾和子, 丸口ミサエ, 飯野京子, 西岡みどり, 大原まゆみ, 仁尾かおり, 岡田彩子 : 看護技術教育における VOD(video on demand) システムへの学生の満足度に影響を及ぼす要因分析について, 国立看護大学校研究紀要, 2(1), 24-30, 2003.

幸田知子, 山田巧, 中原博美: 患者が手術を受容していると判断する看護師の規準に関する研究—心臓血管外科病棟に勤務する看護師の場合, 第 33 回日本看護学会論文集(成人看護 I), 149-151, 2003.

中原博美, 山田巧, 幸田知子: 患者が手術を受容していると判断する看護師の規準に関する研究—消化器外科病棟に勤務する看護師の場合, 第 33 回日本看護学会論文集(成人看護 I), 21-23, 2003.

[研究報告]

倉辻忠俊, 吉倉廣, 宮崎久義, 切替照雄, 矢崎義雄, 小堀鳴一郎, 工藤宏一朗, 川名明彦, 宮澤廣文, 山西文子, 森那美子
他: 厚生労働省科学研究費補助金新興・再興感染症研究事業, 院内感染の発症リスクの評価及び効果的な対策システムの開発などに関する研究, 平成 12 年度～平成 14 年度総合研究報告書, 2003.

[講演・学会発表]

田島桂子, 浦田秀子, 田中京子, 川畑安正, 高島尚美, 雄西智恵美, 安酸史子, 藤村龍子: 看護基礎教育における看護技術および認知領域面の教育のあり方に関する研究; 1 報 教育を要する看護技術と医療関係施設等における指導の実態と認識, 日本看護学教育学会第 13 回学術集会, 2003.

田島桂子, 浦田秀子, 田中京子, 川畑安正, 高島尚美, 雄西智恵美, 安酸史子, 藤村龍子: 看護基礎教育における看護技術および認知領域面の教育のあり方に関する研究; 2 報 教育を要する看護技術と看護学教育のあり方, 日本看護学教育学会第 13 回学術集会, 2003.

田島桂子, 浦田秀子, 田中京子, 川畑安正, 高島尚美, 雄西智恵美, 安酸史子, 藤村龍子: 看護基礎教育における看護技術および認知領域面の教育のあり方に関する研究; 3 報 看護実践能力育成上の教育実態と教育者の認識, 日本看護学教育学会第 13 回学術集会, 2003.

田島桂子, 浦田秀子, 田中京子, 川畑安正, 高島尚美, 雄西智恵美, 安酸史子, 藤村龍子: 看護基礎教育における看護技術および認知領域面の教育のあり方に関する研究; 4 報 教育を要する看護技術と必要な認知領域面の内容, 日本看護学教育学会第 13 回学術集会, 2003.

針原康, 小西敏郎, 森兼啓太, 西岡みどり, 野家環, 前間篤, 古嶋薫, 伊藤契, 奈良智之: 手術部位感染 (SSI) サーベイランスの普及を目指して, 第 103 回日本外科学会定期学術集会, 2003.

針原康, 小西敏郎, 森兼啓太, 西岡みどり, 野家環, 前間篤, 古嶋薫, 伊藤契, 奈良智之: 精度の高い手術部位感染 (SSI) サーベイランスの普及に向けて, 日本消化器外科学会第 58 回総会, 2003.

山田巧, 幸田知子, 中原博美: 循環器病専門医療機関の心臓血管外科病棟に勤務する看護師の陥りやすい pitfall—患者の手術受容に関する看護師の固定観念, 日本看護研究学会雑誌, 26(3), 350, 2003.

岡田彩子: 心臓リハビリテーションと CNS の役割, 重症集中ケア研究会, 2003.

大塚弥生, 藤野智子, 森那美子, 関口純一郎, 豊田恵美子, 高原誠, 味澤篤, 永井英明, 清祐麻紀子, 白阪琢磨, 岡慎一, 木村哲, 大塚嘉人, 森亨, 倉辻忠俊, 切替照雄: ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 感染者における結核および非結核性抗酸菌感染症の実態調査, 第 86 回日本細菌学会関東支部会, 2003.

[研究助成]

稲岡光子, 平賀恵子, 山田巧: 開発途上国における看護基礎教育分野での看護技術移転に携わる人材育成プログラムの開発に関する研究, 平成 15 年度国際医療協力研究委託事業, 課題番号 14 公-5.

[その他]

田中優子, 田崎牧子, 山田巧, 川畑安正: 実習で困らないための患者との対応術: 呼吸器疾患患者とのコミュニケーション, ナーシングカレッジ, 7(13), 63-68, 2003.

西岡みどり: (感染管理に関する用語解説を分担執筆), 見藤隆子, 小玉香津子, 菱沼典子総編集; 看護学事典, 日本看護協会出版会, 2003.

山田巧: 聴診器はこうして使う! 根拠がわかるヘルスアセスメント実践講座 2 呼吸器(1) 聴診のための解剖基礎知識, 看護学雑誌, 67(6), 600-604, 2003.

山田巧: 聴診器はこうして使う! 根拠がわかるヘルスアセスメント実践講座 3 呼吸器(2) 呼吸音の種類と聴取方法, 看護学雑誌, 67(7), 692-697, 2003.

山田巧: 聴診器はこうして使う! 根拠がわかるヘルスアセスメント実践講座 4 呼吸器(3) 副雑音の種類と性状, 看護学雑誌, 67(8), 804-809, 2003.

山田巧: 聴診器はこうして使う! 根拠がわかるヘルスアセスメント実践講座 5 呼吸器(4) 代表的呼吸器疾患と呼吸音の特徴, 看護学雑誌, 67(9), 924-929, 2003.

竹尾恵子監修, 駒松仁子, 山田巧, 佐川美枝子: ビデオ「国立小児病院における音楽活動の実践—子どもたちの心の癒しを目指して」, 2003.

岡田彩子: 聴診器はこうして使う! 根拠がわかるヘルスアセスメント実践講座 8・循環器(1)聴診のための解剖基礎知識, 看護学雑誌, 67(12), 1234-1239, 2003.

岡田彩子: 聴診器はこうして使う! 根拠がわかるヘルスアセスメント実践講座 9・循環器(2)聴診の実際, 看護学雑誌,

成人看護学II(慢性期)

[著書]

飯野京子：第6章 患者の看護，石岡明子，木崎昌弘他，系統看護学講座 専門8 成人看護学4 血液・造血器疾患患者の看護，第1版，112-124，125-155，医学書院，2003。

飯野京子，小山真理子：社会の変動と看護教育，小山真理子編，看護教育の原理と歴史，13-24，医学書院，2003。

飯野京子：排泄の看護技術，竹尾恵子監修，看護技術プラクティス，134-159，学研，2003。

[翻訳]

飯野京子：ロバート・トワイクロス他編；リンパ浮腫，第6，7章分担訳，中央法規，2003。

[論文]

飯野京子，亀岡智美，松山友子，工藤快枝，長尾信子，石岡明子，渡辺輝子，竹尾恵子：海外における看護学教育機関と保健医療機関の連携に関する研究の現状，国立看護大学校研究紀要，12(1)，10-16，2003。

山田巧，川畑安正，西尾和子，丸口ミサエ，飯野京子，西岡みどり，大原まゆみ，仁尾かおり，岡田彩子：看護技術教育におけるVOD(Video on demand)システムへの学生の満足度に影響を及ぼす要因分析について，国立看護大学校研究紀要，12(1)，24-30，2003。

飯野京子，仁尾かおり，駒松仁子，森山節子，中野絹子，中畑高子：国立病院・療養所における看護研究の動向，国立看護大学校研究紀要，12(1)，80-92，2003。

[研究報告]

谷井穂子，浅川久子，斉藤伊都子，吉永靖子，杉本龍子，遠藤綾子，駒松仁子，飯野京子，柏木公一：国立病院・療養所における情報ネットワークに関する研究—情報ネットワークに対する看護管理者のニーズと看護職の利用環境の実態，平成14年度国立病院・療養所共同基盤研究報告書，2003。

[講演・学会発表]

Iino, K & Komatu, H : Determining the self-care behavior of cancer patients undergoing chemotherapy, First International Conference, Japanese Society of Cancer Nursing, 2003.

飯野京子：こころと体のがん看護Ⅲ～がん化学療法の標準治療とがん看護，がん化学療法中の患者のヘルスアセスメント，朝日看護セミナー(東京，神戸)，医学書院主催，2003。

杉本龍子，谷井穂子，浅川久子，斉藤伊都子，吉永靖子，遠藤綾子，駒松仁子，飯野京子，柏木公一：国立病院・療養所における情報ネットワークに関する研究—情報ネットワークに対する看護管理者のニーズと看護職の利用環境の実態，第58回国立病院療養所総合医学会抄録集，195，2003。

[その他]

飯野京子：外来化学療法で看護師に期待すること—外来化学療法において役割を果たすために，看護技術，49(2)，52-54，2003。

飯野京子：聴診器はこうして使う！根拠がわかるヘルスアセスメント実践講座1 知ってますか？ 聴診器のこと，看護学雑誌，67(5)，492-497，2003。

飯野京子：がん化学療法における看護の役割—副作用の予防・対処，インフォームドコンセントのサポート，セルフケアの促進，月刊ナーシング，23(7)，70-76，2003。

飯野京子，坂本照美：がん化学療法看護，セルフケア支援のABC—食事のセルフケア支援，看護学雑誌，67(10)，959-966，2003。

飯野京子，坂本照美：がん化学療法看護，セルフケア支援のABC—下痢のセルフケア支援，看護学雑誌，67(10)，981-986，2003。

飯野京子，坂本照美：がん化学療法看護，セルフケア支援のABC—脱毛のセルフケア支援，看護学雑誌，67(11)，1060-1065，2003。

飯野京子，坂本照美：がん化学療法看護，セルフケア支援のABC—皮膚障害・漏出性皮膚炎のセルフケア支援，看護学雑誌，67(11)，1077-1083，2003。

成人看護学II(政策医療看護学)

[著書]

丸口ミサエ：安楽確保の看護技術，竹尾恵子監修；Latest 看護技術プラクティス，36-51，学研，2003。

丸口ミサエ：清潔・衣生活の看護技術，竹尾恵子監修；Latest 看護技術プラクティス，169-195，学研，2003。

田中靖代, 遠藤英俊, 大原まゆみ: 第5章病気と障害, 鈴木俊夫編; 高齢者のためのトータル口腔ケア, 192-194, 医歯薬出版, 2003.

大原まゆみ: 第6章看護事故予防に関する情報, 土屋八千代, 山田静子編; 看護事故予防学, 216-224, 中山書店, 2003.

大原まゆみ: 創傷管理の看護技術, 包帯法: 竹尾恵子監修; Latest 看護技術プラクティス, 196-226, 学研, 2003.

[翻訳]

季羽倭文子, 志真泰夫, 丸口ミサエ監訳: ロバート・トワイクロス他編; リンパ浮腫, 中央法規, 2003.

[論文]

平井さよ子, 大原まゆみ, 木下昌紀, 大島幸子, 草刈淳子: 中小民間病院の看護職員確保に関する相談支援の事例研究(1) 看護部門へのコンサルテーションの実際, 看護展望, 28(12), 86-92, 2003.

平井さよ子, 大原まゆみ, 木下昌紀, 大島幸子, 草刈淳子: 中小民間病院の看護職員確保に関する相談支援の事例研究(2) 定着可能度分析を用いた看護組織診断, 看護展望, 28(13), 86-92, 2003.

[講演・学会発表]

平井さよ子, 草刈淳子, 大原まゆみ, 木下昌紀, 大島幸子: 中小民間病院の看護職員確保に関する相談支援の事例研究, 平成14年度厚生労働省医療技術評価総合研究事業研究報告会, 平成15年, 7月28日.

[研究助成]

丸口ミサエ, 河正子, 田村恵子, 二見典子: ホスピス・緩和ケア病棟のケアプログラム基準案作成とホスピス・緩和ケア病棟看護師用カリキュラム作成に関する報告, 平成14年度ホスピス・緩和ケア研究振興財団.

平井さよ子, 草刈淳子, 大原まゆみ, 木下昌紀, 大島幸子: 中小民間病院の看護職員確保に関する相談支援の事例研究, 厚生労働科学研究補助金 医療技術評価総合研究事業, 看護職員需給予測と中小民間病院における看護職員確保に関する研究(平成14年度分担研究).

成育看護学(小児看護学)

[著書]

小村三千代: 日々動けなくなる子どもへのかかわり, 筒井真優美編; 小児看護における技, 161-171, 南江堂, 2003.

仁尾かおり: 与薬の看護技術, 竹尾恵子監修; Latest 看護技術プラクティス, 253-301, 学研, 2003.

[翻訳]

仁屋かおり: ロバート・トワイクロス他編; リンパ浮腫, 第8, 9章分担訳, 中央法規, 2003.

[論文]

駒松仁子: 昭和初期の母子保健をめぐる展覧会—三田谷治療教育院の実践を通して, 国立看護大学校研究紀要, 2(1), 69-79, 2003.

駒松仁子: 三田谷啓の阪神児童相談所の活動, 大正12年~大正15年の相談実績から, 子どもの心とからだ, 11(2), 139-147, 2003.

飯野京子, 仁尾かおり, 駒松仁子, 森山節子, 中野絹子, 中畑高子: 国立病院・療養所における看護研究の動向, 国立看護大学校研究紀要, 2(1), 80-90, 2003.

藤原千恵子, 高谷裕紀子, 流郷千幸, 宮内環, 仁尾かおり: 小児看護師の職務ストレスとサポートに関する研究—職務ストレスと状況要因, サポート認知, ストレス反応との関連, 大阪大学看護学雑誌, 9(1), 23-31, 2003.

山田巧, 川畑安正, 西尾和子, 丸口ミサエ, 飯野京子, 西岡みどり, 大原まゆみ, 仁尾かおり, 岡田彩子: 看護技術教育におけるVOD(video on demand)システムへの学生の満足度に影響を及ぼす要因分析について, 国立看護大学校研究紀要, 2(1), 24-30, 2003.

仁尾かおり, 藤原千恵子: 先天性心疾患をもつ思春期の子どもの病気認知, 小児保健研究, 62(5), 544-551, 2003.

[研究報告]

谷井毬子, 浅川久子, 斉藤伊都子, 吉永靖子, 杉本龍子, 遠藤綾子, 駒松仁子, 飯野京子, 柏木公一: 国立病院・療養所における情報ネットワークに関する研究—情報ネットワークに対する看護管理者のニーズと看護職の利用環境の実態, 平成14年度国立病院・療養所共同基盤研究報告書, 2003.

吉田幸子, 日野悦子, 小村三千代, 水野正之, 渡部みどり, 戸谷益子, 三浦京子, 野崎しん, 内田友子, 阿部さとみ, 西海真理, 澤村清美: 小児救急における看護の現状と今後の課題, 平成14年度国立病院・療養所共同基盤研究, 1-25, 2003.

川嶋隆子, 野宮雅子, 谷口治子, 射田明美, 田村伸, 武藤直子, 門脇輝子, 石坂洋子, 松山友子, 小村三千代: 看護におけるインフォームド・コンセントに関する研究—看護計画を患者と共有することの効果, 平成14年度国立病院・療養所共同基盤研究, 1-36, 2003.

[講演・学会発表]

駒松仁子: 小児がんと子どもと家族のケア, 第51回関東社会学会報告要旨集, 11, 2003.

- 谷川弘治, 松浦和代, 駒松仁子, 仁尾かおり, 稲田浩: 小児慢性疾患キャリアオーバーの社会的自立に関する研究, 一小児がん, 先天性心疾患, 小児期発症 I 型糖尿病専門医への調査結果から, 特別なニーズ教育とインテグレーション学会 第 9 回研究大会発表要旨集録, 34-35, 2003.
- 杉本龍子, 谷井穂子, 浅川久子, 斉藤伊都子, 吉永靖子, 遠藤綾子, 駒松仁子, 飯野京子, 柏木公一: 国立病院・療養所における情報ネットワークに関する研究—情報ネットワークに対する看護管理者のニーズと看護職の利用環境の実態, 第 58 回国立病院療養所総合医学会抄録集, 195, 2003.
- 吉田幸子, 小村三千代, 水野正之, 西海真理, 戸谷益子, 野崎しん, 三浦京子, 渡部みどり: 小児救急における看護の現状と今後の課題, 第 1 回国立病院看護研究学会学術集録集, 27, 2003.
- 仁尾かおり, 藤原千恵子: 母親がとらえた先天性心疾患をもつ思春期の子どもの困難, 第 39 回日本小児循環器学会学術集会, 看護セッション抄録集, 24, 2003.
- 河上智香, 西村明子, 藤原千恵子, 星和美, 林田麗, 彦惣美穂, 石井京子, 仁尾かおり, 石見和世, 古賀智影, 高谷裕紀子: 看護系大学卒業看護師の属性によるキャリア認知の差異, 第 34 回日本看護学会抄録集(看護総合), 2003.
- 仁尾かおり, 石井京子, 彦惣美穂, 林田麗, 星和美, 高谷裕紀子, 古賀智影, 石見和世, 河上智香, 西村明子, 藤原千恵子: 看護師のキャリア形成に関する研究—属性別による差異, 日本看護研究学会雑誌, 26(3), 165, 2003.
- 石見和世, 古賀智影, 仁尾かおり, 高谷裕紀子, 彦惣美穂, 林田麗, 星和美, 石井京子, 河上智香, 西村明子, 藤原千恵子: 看護師のキャリア形成に関する研究—専門学校卒業看護師の属性との関係, 日本看護研究学会雑誌, 26(3), 163, 2003.
- 河上智香, 西村明子, 藤原千恵子, 石井京子, 仁尾かおり, 高谷裕紀子, 星和美, 林田麗, 彦惣美穂, 石見和世, 古賀智影: 看護師のキャリア認知に関する研究—大学卒業中堅看護師の職務ストレスとの関係, 日本看護研究学会雑誌, 26(3), 306, 2003.
- 仁尾かおり, 藤原千恵子: 先天性心疾患をもつ思春期の子どもの母親の思いと配慮, 日本小児看護学会第 13 回学術集会講演集, 92-93, 2003.
- 石見和世, 高田一美, 文字智子, 高谷裕紀子, 仁尾かおり, 河上智香, 藤原千恵子: 小児専門病院の看護師の職務ストレスに関する研究—状況要因による職務ストレス認知の差異, 日本小児看護学会第 13 回学術集会講演集, 154-155, 2003.
- 高田一美, 文字智子, 石見和世, 高谷裕紀子, 仁尾かおり, 河上智香, 藤原千恵子: 小児専門病院の看護師におけるサポートに関する研究—状況要因によるサポート認知の差異, 日本小児看護学会第 13 回学術集会講演集, 156-157, 2003.
- 林田麗, 星和美, 彦惣美穂, 石井京子, 仁尾かおり, 石見和世, 古賀智影, 高谷裕紀子, 河上智香, 西村明子, 藤原千恵子: 看護経験 3 年未満の大学卒業看護師のキャリア認知と職務ストレスとの関係, 第 34 回日本看護学会抄録集(看護教育), 2003.
- 仁尾かおり, 藤原千恵子: 先天性心疾患をもつ思春期の子どものコーピング, 第 34 回日本看護学会抄録集(小児看護), 42, 2003.
- 文字智子, 高田一美, 石見和世, 仁尾かおり, 高谷裕紀子, 河上智香, 藤原千恵子: 小児専門病院の看護師における職務ストレスとサポート, 第 34 回日本看護学会抄録集(小児看護), 94, 2003.
- 西村明子, 河上智香, 藤原千恵子, 林田麗, 星和美, 彦惣美穂, 石井京子, 仁尾かおり, 石見和世, 古賀智影, 高谷裕紀子: 看護師の属性による職務ストレスとサポート認知の差異, 日本健康心理学会第 16 回大会発表論文集, 368-369, 2003.
- [その他]
- 竹尾恵子監修, 駒松仁子, 山田巧, 佐川美枝子: 国立小児病院における音楽活動の実践, 一子どもたちの心の音楽と癒しを目指して, 国立看護大学校, 2003. (ビデオ)
- 駒松仁子, 小村三千代, 仁尾かおり, 柏木公一, 西海真理, 山元恵子, 斎藤淳子, 源名保美, 林幸子: 小児看護領域におけるフェールセーフ技術—点滴静脈内注射の事故防止, 国立看護大学校・国立成育医療センター, 2003. (ビデオ)
- 駒松仁子, 小村三千代, 仁尾かおり, 柏木公一, 西海真理, 山元恵子, 斎藤淳子, 源名保美, 林幸子: 小児看護領域におけるフェールセーフ技術—経口与薬の事故防止, 国立看護大学校・国立成育医療センター, 2003. (ビデオ)
- 駒松仁子, 小村三千代, 仁尾かおり, 柏木公一, 西海真理, 山元恵子, 斎藤淳子, 源名保美, 林幸子: 小児看護領域におけるフェールセーフ技術—転倒・転落の事故防止, 国立看護大学校・国立成育医療センター, 2003. (ビデオ)
- 小村三千代: 小児看護の“危機”とは何か, キャリオーバーした患者の増加, 看護学雑誌, 67(7), 650-651, 2003.
- 仁尾かおり: 聴診器はこうして使う! 根拠がわかるヘルスアセスメント実践講座 7 腹部(1)聴診のための解剖基礎知識, 看護学雑誌, 67(10), 1028-1032, 2003.
- 仁尾かおり: 聴診器はこうして使う! 根拠がわかるヘルスアセスメント実践講座 8 腹部(2)聴診の準備, 腹部で聴取できる音と聴診方法, 看護学雑誌, 67(11), 1026-1030, 2003.

成育看護学(母性看護学)

[著書]

佐々木和子, 足立智昭, 中里佐智代: わかったよ, ママの気持ち—新米パパのための妊娠・出産ブックレット, 中央法規, 2003.

[論文]

山田百合子, 大館たか子, 芦沢トモ子, 柴田芳枝, 石渕夏子, 小野薫, 佐々木和子: 看護学生の学生相談制度に対する認識の実態, 看護教育, 44(7), 565-571, 2003.

中山登志子, 定廣和香子, 舟島なをみ: 看護学実習カンファレンスにおける教授活動, 看護教育学研究, 12(1), 1-14, 2003.

中村康香, 吉沢豊予子, 跡上富美, 平石皆子, 岸利江子, 伊藤愛子: マタニティスイミングの運動強度の測定—%HRmax と RPE を用いて, 日本母性看護学会誌, 3(1), 37-46, 2003.

[報告書]

Keiko Takeo, Kazuko Sasaki, Emiko Suzuki, Nobuko Kaneda(as a Member of Steering Committee): Nursing strategies in coping with regional difference in health issues. Proceedings of The 28 TH Senior International Workshop, the Ministry of Foreign Affairs of Japan & The International Nursing Foundation of Japan, September 3-13, 2002, Matsue, Izumo, Japan.

[講演・学会発表]

中山登志子: 研究成果を活用した教授活動の自己評価—看護学実習カンファレンスに焦点を当てて, 看護展望, 28(5), 23-29, 2003.

中山登志子: 「研究成果に基づく看護の実現と看護職の教育」—シンポジウムの司会にあたって, 看護教育学研究, 12(2), 15, 2003.

山登直美, 松田安弘, 山下暢子, 中山登志子, 定廣和香子, 舟島なをみ: 看護専門学校に所属する教員の職業経験に関する研究, 日本看護学教育学会第13回学術集会講演集, 13, 90, 2003.

松田安弘, 村上みち子, 中谷啓子, 中山登志子, 鈴木美和, 野本百合子, 舟島なをみ: 看護師が知覚する看護師のロールモデル行動, 第34回日本看護学会抄録集(看護教育), 89, 2003.

亀岡智美, 中山登志子, 横山京子, 吉富美佐江, 山下暢子, 舟島なをみ: 看護における博士課程学生に関する研究の動向, 第23回日本看護科学学会学術集会講演集, 320, 2003.

黒木智鶴, 中山登志子: 看護学実習における看護過程展開に関する研究の動向—学生の学習活動に焦点を当てて, 第1回国立病院看護研究会学術集会集録集, 61, 2003.

石岡明子, 工藤快枝, 中山登志子, 飯野京子, 亀岡智美: 海外における看護学教育機関と保健医療機関の連携による活動内容—1996年から2001年までの文献の分析を通して, 第1回国立病院看護研究会学術集会抄録集, 53, 2003.

精神・老年看護学(精神看護学)

[講演・学会発表]

瀬野佳代: 慢性期閉鎖病棟で働く看護者の意識・患者観—看護者の語りから, 日本精神保健看護学会第13回総会・学術集会, 68-69, 2003.

[その他]

瀬野佳代: べてる・看護・医療—慢性疾患に向き合う新しいモデルを探る(招待席の聞き手), 看護学雑誌, 67(8), 721-729, 2003.

精神・老年看護学(老年看護学)

[論文]

佐藤鈴子, 阿南みと子: 「顔が見える患者会」が小市町村地域で生活する膠原病患者に及ぼす影響, 日本難病看護学会誌, 7(3), 206-212, 2003.

[講演・学会発表]

絆川牧子, 佐藤鈴子: 高齢者病棟における嚥下性肺炎のクリニカルパス作成—患者家族のインフォームドコンセント, 身体機能面・社会的な面を重視した看護の視点で, 第1回国立病院看護研究会学術集会集録集, 41, 2003.

国際看護学(在宅看護学)

[論文]

松井和子, 佐川美枝子, 俵麻紀, Irene Hanley: 自立生活型呼吸ケアと在宅人工呼吸器使用者の生活の質(QOL), 国立看護大学校研究紀要, 2(1), 17-23, 2003.

頭川典子, 安田貴恵子, 御子柴裕子, 嶋澤順子, 坂本ちより, 俵麻紀, 北山三津子: 学士課程卒業後の保健師が新任期に感じる困難と対処状況, 長野県看護大学紀要, 5, 31-40, 2003.

俵麻紀, 北山三津子, 御子柴裕子, 安田貴恵子, 頭川典子: ベテラン保健師がおこなっている地区診断のための情報収集の特徴—母子保健活動より, 保健婦雑誌, 59(9), 856-863, 2003.

[講演・学会発表]

俵麻紀: 両親の育児行動の進展過程に関連する要因, 日本地域看護学会第6回学術集会講演集, 109, 2003.

山田和子, 平野かよ子, 嶋野洋子, 奥田博子, 島田美喜, 俵麻紀, 大竹ひろ子, 海法澄子: 失業者のメンタルヘルス—ハローワーク来所者への調査より, 第62回日本公衆衛生学会総会抄録集, 901, 2003.

安田貴恵子, 北山三津子, 俵麻紀, 嶋澤順子, 御子柴裕子, 平澤かほる, 中坪美智子: 行政保健師による介護支援専門員連絡会を活用したケアマネージャー支援, 第62回日本公衆衛生学会総会抄録集, 694, 2003.

[研究助成]

安田貴恵子, 北山美津子, 嶋澤順子, 御子柴裕子, 坂本ちより, 酒井久美子, 俵麻紀, 頭川典子: 市町村保健福祉行政に所属する保健師の機能, 平成12~14年度長野県看護大学特別研究費, 研究成果報告書, 平成15年3月(平成12年度).

竹尾恵子監修, 駒松仁子, 山田巧, 佐川美枝子: ビデオ「国立小児病院における音楽活動の実践—子供たちの心の癒しを目指して—」, 2003.

岡美智代監修, 佐川美枝子: 透析患者のセルフケア行動変容プログラム, vol.1 基礎知識編, 中外製薬, 2003.

国際看護学(国際看護学)

[論文]

平賀恵子: 看護管理分野において国際協力に携わる人材育成の核となる要素, 国立看護大学校研究紀要, 2(1), 31-39, 2003.

[研究報告]

稲岡光子: 開発途上国における看護基礎分野での看護技術移転にかかわる人材の養成プログラム開発に関する研究—開発途上国の基礎教育をとりまく状況調査, 平成14年度厚生省国際医療協力研究委託費研究報告集, 分担研究報告, 339-340, 国立国際医療センター, 2003.

[研究助成]

稲岡光子, 平賀恵子, 山田巧: 開発途上国における看護基礎教育分野での看護技術移転に携わる人材育成プログラムの開発に関する研究, 平成15年度国際医療協力研究委託事業, 課題番号14公-5.

[その他]

稲岡光子: 「国際看護師協会」「国際助産師連盟」「全米看護連盟」「日本看護協会」「日本看護連盟」「米国看護師協会」の項目, 伊藤正男, 井村裕夫, 高久史磨総編集: 医学書院医学大辞典, 医学書院, 2003.

臨床教員

[著書]

飯野京子, 石岡明子, 木崎昌弘, 小島操子: 系統看護学講座 専門分野8 成人看護学[4]血液・造血器疾患患者の看護 第11版, 医学書院, 2003.

石岡明子: 検査時の看護技術 検体の採取法, 竹尾恵子監修; Latest 看護技術プラクティス, 371-389, 学研, 2003.

[翻訳]

中辻香邦子: ロバート・トワイスクロス他編; リンパ浮腫, 第13章分担訳, 中央法規, 2003.

[論文]

中原博美, 山田巧, 幸田知子: 患者が手術を受容していると判断する看護師の規準に関する研究—消化器外科病棟に勤務している看護師の場合, 第33回日本看護学会論文集(成人看護I), 21-23, 2003.

幸田知子, 山田巧, 中原博美: 患者が手術を受容していると判断する看護師の規準に関する研究—心臓一般外科病棟に勤務している看護師の場合, 第33回日本看護学会論文集(成人看護I), 149-151, 2003.

[研究報告]

富岡雅代, 石岡明子: ストーマリハビリテーションにおける WOC 認定看護師のケア行動の分析, 日本創傷・オストミー・失禁ケア研究会誌, 6(2), 28-35, 2003.

[講演・学会発表]

工藤快枝, 奥坂喜美子: 臨床実習指導者に関する研究の現状と課題, 第 34 回日本看護学会抄録集(看護教育), 2003.

山田巧, 幸田知子, 中原博美: 循環器病専門医療機関の心臓血管外科病棟に勤務する看護師の陥りやすい pitfall—患者の手術受容に関する看護師の固定観念, 日本看護研究学会雑誌, 26(3), 350, 2003.

森真由美, 舟島なをみ: 新人看護師の行動に関する研究, 日本看護教育学会, 2003.

石岡明子, 河野文子, 市川裕美子, 荒木光子: 高度先端がん医療にたずさわる看護師のためのグリーフケア—造血幹細胞移植病棟におけるデス・カンファレンスの試み, 第 17 回日本がん看護学会学術集会, 2003.

Akiko Ishioka: An investigation into which variables influence perceived self-efficacy for cancer patients in chemotherapy, 日本がん看護学会第 1 回国際学術集会, 2003.

石岡明子, 工藤快枝, 中山登志子, 飯野京子, 亀岡智美: 海外における看護学教育機関と保健医療機関の連携による活動内容—1966 年から 2001 年までの文献の分析を通して, 第 1 回国立病院看護研究学会学術集會集録集, 53, 2003.

矢野路子, 幸田知子, 伊藤文代, 豊田百合子: ユニフィケーションの成果に関する報告, 第 2 回大阪看護教育管理学会, 2003.

松本賢哉, 三橋英雄, 河嶋直子, 加賀谷悦子, 坂井郁恵: 精神科臨地実習における学生の不安と患者関係との関連, 第 1 回国立病院看護研究学会学術集会, 2003.

宇都宮智, 飯白純子, 後藤みさ: 統合失調症患者の身体的拘束における一時的解除についての研究, 第 23 回日本看護科学学会学術集会, 2003.

東野菜緒子, 増田久仁子, 石崎桜, 吉野美紀, 大川智明, 奥坂喜美子: DOTS に対する結核患者の思いの調査, 第 34 回日本看護学会(成人看護 II), 2003.

前川智子, 奥坂喜美子: 呼吸器疾患患者の早期退院を阻害する要因, 第 34 回日本看護学会(看護管理), 2003.

[その他]

石岡明子: がん化学療法セルフケア支援の ABC—感染予防のセルフケア支援, 看護学雑誌, 67(11), 1072-1076, 2003.